

## 第6次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画の達成状況

2022（令和4）年度に実施した市民意識調査により、あらゆる差別をなくする総合計画に設定した重要目標達成指標（KGI）の達成状況は、次の表のとおりとなった。

推進方針	重要目標達成指標	2019（令和元）年度	2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2025（令和7）年度目標
第1 人権教育・同和教育の推進	職場や学校、地域など身近なところで、人権が十分に保障されていると感じている市民の割合を向上させる。	83.2%	50.7% (32.5pt減)	51.1% (0.4pt増)	87%
第2 人権啓発の推進	同和地区の起源や歴史、部落差別の現実を認識している市民の割合を向上させる。	67.7%	63.1% (4.6pt減)	64.0% (0.9pt増)	71%
	過去5年間に人権問題に関する学習会や講演会・研修会に参加したことがある市民の割合を向上させる。	64.1%	57.7% (6.4pt減)	51.0% (6.7pt減)	67%
第3 相談・支援体制の充実	差別や人権侵害を受けたとき、誰かに相談した市民の割合を向上させる。	66.0%	67.1% (1.1pt増)	61.5% (5.6pt減)	69%

（説明）

- 2019（令和元）年度のスコアについては人権・同和問題に関する市民意識調査報告書による。  
調査期間：令和元年10月23日～11月30日、回答率：32.7%（655/2,000人）、標本誤差：3.8%
- 2020（令和2）年度に実施された市民意識調査については、KGIを計測する調査項目が設定されていないため、掲載していない。
- 2021（令和3）年度からのスコアについては、企画課が実施した市民意識調査報告書による。  
（1）2021（令和3）年6月14日～7月5日、回答率：44.0%（1,101/2,500人）、標本誤差：2.89  
（2）2022（令和4）年5月6日～6月6日、回答率：43.0%（1,075/2,503人）、標本誤差：2.99